

## 「中部圏 新しい価値の創造－北陸と東海の地域連携のあり方に関する研究会報告」

(1998年11月発行)

本レポートは、「中部は一つ」といいながら、実体的には地域連携が強固であるとはいえない北陸と東海の関係について、お互いが対等な立場で、相互の持つ機能を補完し合いながら、発展するためには、どのように協力し合っていけばよいのかを研究するために、中部開発センターを事務局とした研究会で議論を重ねた結果をまとめたものである。

### ○ 「中部は一つ」と「北陸と東海地域連携」

名古屋の魅力アップ ⇔ 北陸と東海地域連携の強化 ⇔ 中部圏の構造強化

### ○ 北陸と東海連携の狙い

1. 北陸は名古屋の魅力づくりのパートナー
2. 東海から北陸へのラブコール
3. 多極多元地域連携構造の実現

### ○ 新しい価値の創造～北陸と東海の新しいグランドデザイン～

1. 新たな交流の創造
2. 中小都市の再生
3. 環日本海交流の積極的推進
4. 中部国際空港を中部全域のゲートウェイに
5. 地域の歴史的価値、空間的価値の再評価

### 「北陸と東海地域連携のあり方に関する研究会」メンバー（当時、五十音順）

座長	本多 義明	福井大学工学部教授
委員	阿部 和俊	愛知教育大学教育学部教授
	神谷 浩夫	金沢大学文学部助教授
	佐々木 雅幸	金沢大学経済学部教授
	竹内 伝史	岐阜大学地域科学部教授
	山根 拓	富山大学教育学部助教授
事務局	社団法人 中部開発センター	事務局長 三井 哲
		企画事業部部长 平野 賢一
		企画事業部次長 田村 亨